

(注) 本報は、主に現地紙における報道を当館限りで日本語でまとめたものです。記事の中の客観事実は、日本政府や現地政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承ください。

## モーリシャス月報(2015年10月)

### 主な出来事

#### 【内政】

- ・2015年版モ・イブライム指数でモーリシャスはアフリカ第1位の座を維持(6日)。
- ・ジュグノート首相がロドリゲス島自治回復13周年式典に自ら出席(10日)。
- ・国民議会の審議中、野党 MMM 党、労働党の議員が退場。バダイン行政改革相を中傷した野党院内幹事及び MMM 党首が中傷の撤回を拒否して議長から退場命令を受けたのに対し、野党 MMM 党、労働党が抗議したもの(13日)。
- ・国民議会のテレビ同時中継導入のための動議が可決(23日)。
- ・国民議会で2014年度分補正予算法総額17.58億ルピーが採択(27日)。

#### 【外政】

- ・ジュグノート首相は、国連総会一般討論演説で、国際社会に対し、チャゴス諸島に係るモーリシャスの領有権の行使を認め、同諸島の返還に向けた対話を実現するよう訴えた。首相は、英国がモーリシャスの権利と主権を無視し、20年間の(米軍用地)貸借契約の延長を予定しているとして、英国、米国及びトロムラン島を領有する仏に対し対話を要求する旨述べた(4日)。
- ・インド洋商工会議所連合(UCCIOI)は仏AFDの支援240万ユーロにより、インド洋域の貿易緊密化プログラム(PRCCOI)を開始(7日)。
- ・モーリシャス・セーシェル間でインド洋域内経済協力を推進すべく域内投資基金の設立で合意し、モーリシャス政府が1,500米ドルを拠出することが決まった(23日)。
- ・サウジアラビア・モーリシャス間の二重課税防止協定、投資促進協定の妥結に向けて協議継続。スマート・シティ計画の下に進められるエベヌ地区遺産都市事業へのサウジアラビアの資金提供が決まった(26日)。
- ・デリーで開催された印・アフリカ経済フォーラムにジュグノート首相が出席(29日)。

#### 【経済】

- ・IMFはモーリシャスの2015年経済成長率を3.2%と予測(6日)。
- ・ポートルイス港において DP World 社がコンテナ積出港と港内経済特区関連部分の開発調査を実施中(6日)。
- ・財相は2017年までに経済成長率5.7%の達成、2017年末から5年間で年率8%の経済成長率の達成の意図表明(13日)。
- ・「ファイナンシャル・タイムズ」系列「The Banker」誌による中東・アフリカの海外直接投資の投資先としての有望国ランキングで、南アフリカ、エジプト、モロッコに次いで、モーリシャスは第4位(15日)。
- ・ロドリゲス島への第3次通信ケーブル(光ファイバー)2,000km 敷設のため、モーリシャス政府は7,000万-1億米ドルの事業投資の国際競争入札意図(EOI)を公示(28日)。
- ・世銀 Doing Business2016年版でモーリシャスは189か国中第32位に後退したものの、サブサハラ・アフリカで第1位を維持(29日)。

## 【内政】

### ●スーダン副首相が与党 MSM 党の躍進を称賛

1日、国連総会出席のため外遊中のジュグノート首相の代理を務めて10日目になるスーダン副首相がヴァコアス・フェニックス市で与党モーリシャス社会主義運動(MSM)の集会に出席し、「小党の一つに過ぎなかった MSM 党は大政党になった」と評価し、(Medpoint 社に不正に便宜を図った容疑で訴追されている)首相の息子であるプラヴィンド・ジュグノート党代表を「次期首相」と持ち上げた。(2日付モーリシヤン紙)

### ●解放運動(ML)が党大会で躍進を約束

1日、与党会派の解放運動(ML)党大会が開催され、コリンダヴェルー代表(副首相)は、モーリシャスの将来につき楽観していると述べ、結党以来日の浅い同党は、既に歴史に足跡を記し、数年後には第一党に躍進すると述べた。同党大会には、ゲイアン保健相、ドリエウー社会保険相、フオング・ローズヒル市長も出席した。(2日付モーリシヤン紙)

### ●モーリシャスはモ・イブライム指数でアフリカ第1位を維持

6日、発表された2015年版モ・イブライム指数世界ランキングにおいて、モーリシャスはアフリカ第1位の座を維持したものの、指数は前年の81.4から本年は79.9に後退した。過去4年間でアフリカ54か国の平均値は0.2ポイントしか改善せず50.1に留まり、アフリカ各国政府のガバナンス向上は停滞している。モ・イブライム指数は、治安と法治国家、持続的開発、政治参画と人権、人間開発の4つの基準に基づいて計算されている。(6日付モーリシヤン紙)

### ●首相の息子プラヴィンド・ジュグノート MSM 党代表が国民議会で揶揄される

7日の国民議会の質疑応答の時間において、与党 MSM 党プラヴィンド・ジュグノート議員(党代表)と同議員を「保証金付政治家」と揶揄する野党院内幹事(whip) モーリシャス闘争運動(MMM)バグワン議員(党事務局長)との間で激しい舌戦が展開されて議事が紛糾し、ハヌマンジー議長が議事規則違反を宣言する事態が発生した。(7日付モーリシヤン紙)

### ●野党は2015年の経済成長率を3.5%と予測し、経済見通しに悲観的

野党モーリシャス闘争運動(MMM)ベランジェ党首は、同党経済部会の専門家の試算では、2015年の経済成長率は3.5%を下回る見込みである旨述べた上で、ラチュミンアライドウ財相が発表した2016年、2017年の経済成長率予測値5.3%、5.7%はあり得ないと批判した。MMM 党は経済見通しに悲観的である。(9日付モーリシヤン紙)

### ●ジュグノート首相がロドリゲス島自治回復13周年式典に自ら出席

10日、ロドリゲス島自治回復13周年式典に、数十年間同島を訪れていなかったジュグノート首相が出席した。(11日付モーリシヤン紙)

#### ●ビジネス環境改善のための作業部会の開催

10日、ラチュミアライドゥ財相の主宰により、モーリシャスのビジネス環境改善のための作業部会が開催され、モーリシャス中銀、財務省、投資評議会、法人登記局、総合登記局、合同経済評議会が参集した。ビジネス振興のための改革プロセス、会社設立時に直面する障害の解決法について審議が行われた。財相は、今後3年でモーリシャスが世界の中で理想の投資先となるよう改革したい旨述べた。(12日付モーリシャン紙)

#### ●国民議会で野党議員が退場

13日の国民議会の審議で、野党院内幹事 MMM 党バグワン議員(党事務局長)が、バダイン行政改革相が国営放送(MBC)に不正介入を行ったとして中傷したのを巡り議事が紛糾し、ハヌマンジ議長に中傷の撤回を求められたバグワン議員が拒否したため、審議打ち切りとなり、同議員は退場命令を受けた。次いで、バグワン議員を擁護する同党ベランジェ党首も行政改革相に対する中傷の撤回を拒否したため、同党首も退場命令を受けた。右処分に抗議する野党 MMM 党、労働党(PTr)の全議員が審議継続を拒否し、退場する事態となった。(13日付モーリシャン紙)

#### ●野党議員退場事件は政権安定の証し

15日、与党人民同盟(Lepep)会派が党首会談を行い、13日の国民議会で野党議員が退場した事件について、ブラヴィンド・ジュグノート MSM 党代表は「政権が安定すると野党は荒れる」と評した。一方、デュヴァル・モーリシャス社会民主党(PMSD)党首は「MMM 党の退場は事前に計画が練られていた」と分析した。また、解放運動(ML) コリンダヴェルー党首(副首相)は、「退場したベランジェ MMM 党首、バグワン党事務局長は6月の市議会選挙で同党が1議席も獲得できなかった事実を理解していないようだ」と述べた。(16日付モーリシャン紙)

#### ●ジュグノート首相が野党側の自制と礼儀の欠如を批判

17日、ジュグノート首相は採用警察官入隊式に出席した際、政局について言及し、野党議員退場事件については、野党 MMM 党ベランジェ党首は、自制とハヌマンジ議長に対する礼儀を欠いていたと批判した。また、首相は、ガイヤン保健相が、リハビリ治療でメサドンを使用する患者に関し不適切発言を行った件について理解を示した。(18日付モーリシャン紙)

#### ●ジュグノート首相が選挙制度改革委員会の設置を表明

20日、ジュグノート首相は、国民議会において質問主意書(PNQ)に対する答弁で、選挙制度改革関係閣僚委員会を設置する考えを明らかにした。2010年国民議会選挙において政党「抵抗と政権交替(Rezistans ek Alternativ)」党の候補者104名を失格とした政府対応が、2012年に国連人権委員会報告書において国際人権規約(B規約)に違反するとして改善勧告を受けた事案に関し、ベランジェ野党 MMM 党首が事後対応につき問い質したのに答えたもの。(20日付モーリシャン紙)

●ジュグノート首相が国民議会での発言で謝罪

20日、ジュグノート首相は、国民議会の質疑応答中に、野党院内幹事バグワン MMM 党議員に対し黙れと述べた後、ハヌマンジ議長から発言内容を問い質されると右発言内容を認め、直ちに謝罪した。(21日モーリシヤン紙)

●国民議会への同時中継導入動議を採択

23日、国民議会において議会作業のテレビ同時中継導入を勧告した議員部会報告書に係る動議が可決された。ジュグノート首相は、議会制民主主義の安定化と近代化に資する点で歴史的意義があり誇りに思う旨述べた。(24日付モーリシヤン紙)

●野党も国民議会への同時中継導入に賛成

23日、国民議会において、野党 MMM 党ベランジェ党首は、国民議会のテレビ同時中継導入の成功の鍵は、番組制作委員会の委員長の采配にあるとの見方を示した。同党首は、同時中継導入は画期的であり、首相が時間をかけずに速やかに動議採択に付した点を評価する旨述べる一方、番組制作委員会は無駄遣いを避けるべく国営放送(MBC)と協力すべきであるとの一点を除き、動議の報告書に同意すると述べた。(24日付モーリシヤン紙)

●ジュグノート首相が選挙制度改革は未着手であると認める

10日、ジュグノート首相がロドリゲス島で行った議員の比例代表制に関する発言が政局を賑わせている。国民議会における24日の質問主意書(PNQ)に対する答弁の中で、首相は現政権発足以来、選挙制度改革に着手してこなかった点を認めた。2010年の国政選挙で政党「Rezistans ek Alternativ」を失格とした政府対応の最高裁判所の判決期限が11月3日に迫っており、緊張が高まっている。(25日付モーリシヤン紙)

●国民議会でグッド・ガバナンス法案の審議が開始

26日、バダイン行政改革相が国民議会に提出した「グッド・ガバナンス及び法令厳守報告法案」と、同法施行に伴う憲法修正案の趣旨説明が開始し、政権内外で議論を引き起こした。与党派人民同盟(Lepep)の勉強会で、ジュグノート首相は、本年12月初旬の閣僚の海外渡航を禁止し、憲法修正案には4分の3の賛成票を確保するよう指示した。(27日付モーリシヤン紙)

●2014年度補正予算法が採択

27日、ラチュミアライドウ財相が国民議会に提出した2014年度補正予算法が審議の末、採択された。前政権が採択した2014年予算法の追加予算の配分を決定したもので、4月に採択した2013年度補正予算法に続き追加予算の配分は本年2回目。2014年度補正予算の総額は17.58億ルピー。(28日付モーリシヤン紙)

●「言語交流連盟」修正法案が採択

27日、国民議会で「言語交流連盟」修正法案が審議の末、採択された。野党 MMM 党の一部議員と労働党(PT)は法案に反対票を投じ、同修正法案の規定により、運営評議会の委員15名の内、芸術・文化相に「任命」される委員4名の人選が、11の「言語交流連盟」の間で政治化する点を注視していく旨述べた。(28日付モーリシャン紙)

●「グッドガバナンス及び法令遵守法案」の公聴会の開催

29日、「不正蓄財、グッドガバナンス及び法令遵守法案」の公聴会が開催され、バダイン行政改革相は、同法案は「不正に取得したいかなる財産も資産取得に使用されることのないよう」同法を施行し、モーリシャス社会の格差を是正すると説明した。同法には、民事訴訟において、取得元を説明できない資産の取得については国家が当該資産を没収できる等の措置が盛り込まれている。(30日付モーリシャン紙)

【外政】

●ポートルイスで税関と脱税に関する専門家セミナーを開催

9月28日－10月2日、ポートルイスで、アフリカ9か国の税関と脱税の専門家が参集し、IMFの支援で作られた中南部アフリカ税関訓練センター(AFRITAC)の主催によるセミナーが開催された。脱税が孕むリスク、脱税予防・制裁措置の導入のための協働につき研修が行われた。参加国は、ブルンジ、カメルーン、中央アフリカ、コモロ、ガボン、赤道ギニア、マダガスカル、コンゴ共和国、モーリシャス。(6日付モーリシャン紙)

●国連総会でジュグノート首相が英領チャゴス諸島の返還と対話を要求

4日は、英領チャゴス諸島に係る英国と米国間の(米軍用地)貸借契約の期限となっている50年が満了する前日に当たり、ジュグノート首相は、国連総会一般討論演説で、国際社会に対し、チャゴス諸島に係るモーリシャスの領有権の行使を認め、同諸島の返還に向けた対話を実現するよう訴えた。首相は、英国がモーリシャスの権利と主権を無視し、貸借契約の20年間延長を予定しているとして、英国、米国及びトロンラム島を領有する仏に対し対話を要求する旨述べた。(4日付モーリシャン紙)

●インド洋商工会議所連合が貿易緊密化プログラムを実施

7日、モーリシャス商工会議所で、インド洋商工会議所連合(UCCIOI)と仏AFDの共催により、インド洋5か国による「貿易緊密化プログラム(PRCIOI)」が開始した。コモロ、マダガスカル、モーリシャス、マイヨット、セーシェルの商工会議所で構成される UCCIOI は、仏 AFD による240万ユーロの支援により、域内の開発事業を実施する予定。(9日付モーリシャン紙)

●ギユリブ・ファキム大統領が仏女性フォーラム世界会議に参加

14日－16日、仏ドーヴィルで開催された第11回女性フォーラム世界会議に、ギユリブ・ファキム大統領が参加した。世界的に影響のある女性が参集した同会議で、モーリシャス初の女性かつイスラム教徒の大統領で、科学者、経営者にして国の象徴である同大統領は仏メディアでも脚光を浴びた。(18日付モーリシャン紙)

●パレスチナ観光相が来訪

15日、公式訪問で来訪したルラ・マアヤー・パレスチナ観光相がデュヴァル副首相と会談した。17日、デュヴァル副首相は、イスラム文化センター(CCI)におけるマアヤー・パレスチナ観光相との対談で「モーリシャス国民、特にジグノート首相はパレスチナの主張への支持を改めて表明する」と述べた。(16日、20日付モーリシャン紙)

●豪州が高校の持続的開発教育プログラムを実施

20日、豪州大使館は、中部キュールピップ市のロレット高校の持続的開発教育プログラム開始のため69万9,800ルピーを供与すると発表した。同プログラムは実施を了した雨水の集積事業の第2フェーズとして実施され、校庭の整備、持続的耕作の普及と職業訓練機材の供与が予定されている。(20日付モーリシャン紙)

●ギユリブ・ファキム大統領が「グランド・チャレンジ」事業開始式典に参加

21日、ビル・メリンダ・ゲイツ財団主催で北京で開催された「グランド・チャレンジ・アフリカ」事業開始式典で、ギユリブ・ファキム大統領が基調演説を行った。(19日付モーリシャン紙他)

●セーシェルと域内投資基金を設立、1,500米ドルを拠出

23日、セーシールのマエで開催されたモーリシャス・セーシェル間協力委員会第11回会合で、両国間に留まらずインド洋域内においても経済協力を推進することが決まり、域内投資基金の設立と基金原資としてモーリシャス政府が1,500米ドルを拠出することが決まった。(26日付モーリシャン紙)

●遺産都市事業にサウジアラビアが資金提供

26日、スマート・シティ計画の一環で実施予定のエベヌ地区遺産都市事業に、サウジアラビアが資金を提供することが明らかになった。同日、サウジアラビアのモハメド皇太子特使とスッダン、バダイン両副首相との間の協議で決まったもので、先般、スッダン副大臣がサウジアラビアを訪問した際に対モーリシャス投資を呼びかけたのに対し、サウジ王室が応じたもの。(26日付モーリシャン紙)

●サウジアラビアとの間で二重課税防止、投資促進のための協定を継続協議

26日、来訪したモハメド・サウジアラビア皇太子の特使とラチュミンアライドウ財相が協議を行い、両国間の経済・外交関係の強化で合意した。両国間の二重課税防止協定、投資促進協定の妥結に向け

て協議を継続していくことで一致した。(28日付モーリシヤン紙)

●印・アフリカ経済フォーラムにジュグノート首相が出席

29日、デリーで開催された印・アフリカ経済フォーラムにおいて、ジュグノート首相は、モーリシヤスの対アフリカ経済特区の整備における連携に対し印企業から示された関心に心から感謝する旨述べるとともに、印・モーリシヤス関係を「他に類例を見ない、多面性を持った歴史的・文化的な」特別な関係と評価した。また、モーリシヤスの第二次経済奇跡の実現を軸とした経済大綱声明を説明した。(30日付モーリシヤン紙)

●英国でチャゴス諸島旧住民の再定住に関する討論会開催

30日、ダドリッジ外相、コービン野党新党首が参加して、チャゴス諸島旧住民の再定住に関する討論会がロンドンで開催され、米国によるチャゴス諸島旧住民の帰島・再定住を旨とするロビー活動は継続し、英国による右に対抗するキャンペーンにも関わらず、近い将来、再定住が可能ではと思わせるほどである、と結論付けた。(30日付モーリシヤン紙)

【経済】

●世銀が政府税収(所得・収益税収、付加価値税)の鈍化を懸念

2日、IMFの四条協議ミッションの来訪(4日)、世銀は3つの指標を取り上げて警鐘を鳴らした。経済成長の鈍化により、政府の税収は予測値GDP比22.2%を下回り、20.6%に減少した。特に、所得・収益税は予測値GDP比4.4%を下回って4.2%、付加価値税は12.5%を下回り、11.3%を記録した。(4日付モーリシヤン紙)

●国内総投資が3.6%に鈍化

4日、国立統計局は、2015年の国内総投資の成長率を見直し、0.5%引下げ、予測値を3.6%と発表した。公共投資の9%増加も成長率の鈍化に歯止めをかけられなかった。経済の離陸に最小限必要となる成長率5%―6%の目標を達成するには、民間投資の堅調な成長が不可欠である。現在、18%に留まる投資性向を25%まで引き上げ、民間投資の比率を70%―75%に引き上げる必要がある。(4日付モーリシヤン紙)

●ポートルイス港開発事業のパートナーは未定

6日、デュヴァル首相代理は、国民議会における質問主意書(PNQ)に対する答弁で、ポートルイス港開発事業においてドバイ・ポート・ワールド(DP World)社が戦略的パートナーに選出されたとの噂の真偽に関し、同国 Cargo Handling Corporation 社はパートナーを現時点で決めておらず、DP World 社はコンテナ積出港と港内経済特区関連部分の調査に当たっているのみであると回答した。(6日付モーリシヤン紙)

●IMFはモーリシャスの2015年経済成長率を3.2%と予測

6日、IMFは世界経済展望を発表し、モーリシャスの経済成長率につき、2015年は3.2%、2016年は3.8%と予測した。IMFは、モーリシャスのGDPにつき、2015年は3,026億ルピー、2016年は3,140億ルピーと予測している。(7日付モーリシャン紙)

●対内投資3.08億ルピーが撤退

13日、モーリシャス証券取引場の発表によれば、過去2週間の間に3.08億ルピーもの対内投資が減少した。Semdex指数は1%下降し1,896.93となり、8.5%の下落を記録した。(13日付モーリシャン紙)

●財相は2017年までに経済成長率5.7%の達成の意図表明

14日、ラチュミンアライドウ財相は、2017年までに経済成長率5.7%を達成し、2017年末から5年間で年率8%の経済成長率を実現するとの見方を示した。アフリカ大陸を経済パートナーとすることで、民間部門の投資を呼び込み、ポートルイス港を地域の海運拠点とし、2,400平方キロの経済特区をアフリカ内の貿易振興に役立てる。財相は「10年以内に域内の経済大国とする」との野心的計画を推進していく。(14日付レクスプレス紙)

●2015年の物価上昇率は1.7%となり物価は安定

15日、国立統計局は2015年の物価上昇率を1.7%と予測し、2014年、2015年の物価上昇率3.2%、3.4%を大幅に下回ったと発表した。(15日付モーリシャン紙)

●モーリシャスは中東・アフリカ第4位の投資先

15日、発表された「ファイナンシャル・タイムズ」系列「The Banker」誌による中東・アフリカ有望国の海外直接投資(FDI)市場の分析によれば、モーリシャスは投資先の有望国ランキングで、南アフリカ、エジプト、モロッコに次いで、第4位となった。(15日付モーリシャン紙)

●民間部門は公定歩合4.65%の維持を期待

11月9日、モーリシャス中銀の金融政策委員会第38回会合が開催される予定。国内経営者は民間部門では物価上昇率の安定を必用としており、公定歩合4.65%の維持が期待されている。(19日付モーリシャン紙)

●2016年3月からシンガポールとの直行便が就航

21日、首相府の記者会見で、ジュグノート首相は、2016年3月12日から、シンガポール・モーリシャス直行便が就航すると発表した。首相によれば、モーリシャスが高所得国入りするためには空の自由化は最優先の政策であると説明した。10月14日にシンガポールで、モーリシャス航空とシンガポール・チャンギ空港との間で合意が署名されていた。(21日付モーリシャン紙)



●8月期の貿易赤字が顕著に減少

21日の国立統計局の発表によれば、2015年8月期の貿易赤字は49億ルピーで、75億ルピーを記録した前年同月と比較して顕著に減少した。石油輸入総額が、前年同月の38億ルピーから2015年8月期は14億ルピーに顕著に圧縮されたのが主な要因。

2015年8月期の輸入総額は84億ルピーで、前年比3%増加した。一方、本年7月と比較して2.5%減少した。また、本年8月の輸入総額は133億ルピーで、前年の156億ルピー、本年7月の158億ルピーから減少した。燃料・潤滑油の輸入総額は前年の24億ルピーから14億ルピーに減少した。(22日付モーリシャン紙)

●ロドリゲス島への通信ケーブルに最大1億ドルを準備

28日、モーリシャス政府が、ロドリゲス島への第3次通信ケーブル(光ファイバー)2,000km敷設のため、7,000万-1億米ドルの投資を行う用意があることが明らかになった。技術・通信・技術革新省は、国際競争入札の意図公示(EOI)を開始した。(29日付モーリシャン紙)

●世銀 Doing Business で第32位、サブサハラで第1位を維持

29日に発表された世銀 Doing Business2016年版で、モーリシャスは189か国中第32位に後退した。モーリシャスはサブサハラ・アフリカでは第1位を維持した一方、シンガポールはニュージーランドを抜いた。同資料は、アフリカ各国は他の地域に比してビジネス環境の改革に最も注力したと結論付けた。(30日付モーリシャン紙)

●世銀・IMFが11月に銀行・保険システム監査を実施

11月1日から18日間、世銀・IMFのミッションが来訪し、モーリシャス銀行・保険システムの監査を行う予定であることが明らかになった。(28日付モーリシャン紙)

(了)